



少年警察学生ボランティアに参加する意義

～ネットの危険から子どもたちを守るために大学生としてできること～

三重県 【皇學館大学 文学部 コミュニケーション学科 4年 奥岡万葉】



目次

1. 若檜サポーターについて
2. 活動体験
3. コミュニケーションントラブルについて
4. まとめ

若櫛サポーターについて



主な活動内容

○立ち直り支援活動

- ・学習支援
- ・体験活動、社会参加活動の支援

○非行防止・健全育成活動

- ・街頭補導活動への参加
- ・非行防止教室の開催補助
- ・少年の保護・健全育成の活動



活動体験について



自転車盗難被害防止 広報啓発活動



駅前での
チラシ配布の様子

ネットトラブルに関わる 意見交流会



子ども達が、どのようなトラブルに
巻き込まれるのか意見を交わしました。

活動体験について



ネットトラブル 啓発動画作成会議



伝えたいスライドを
作成している様子

目的

ネットトラブル防止教室の
授業の「学習のまとめ」として
動画を利用するため。



生徒に伝えたいこと
「送信する前に考えてほしい」

活動体験について



ネットトラブル 防止教室



内容

- ・ネットの危険性
- ・ネットのルールやマナー
- ・自分自身の経験談

保護者の方からいただいた言葉

「同じ立場の方が経験したことを話していただいたので、生徒たちが自分事のように危機意識をもつきっかけになる。」

**ネットの危険から子どもたちを守るために
私たちにできること**

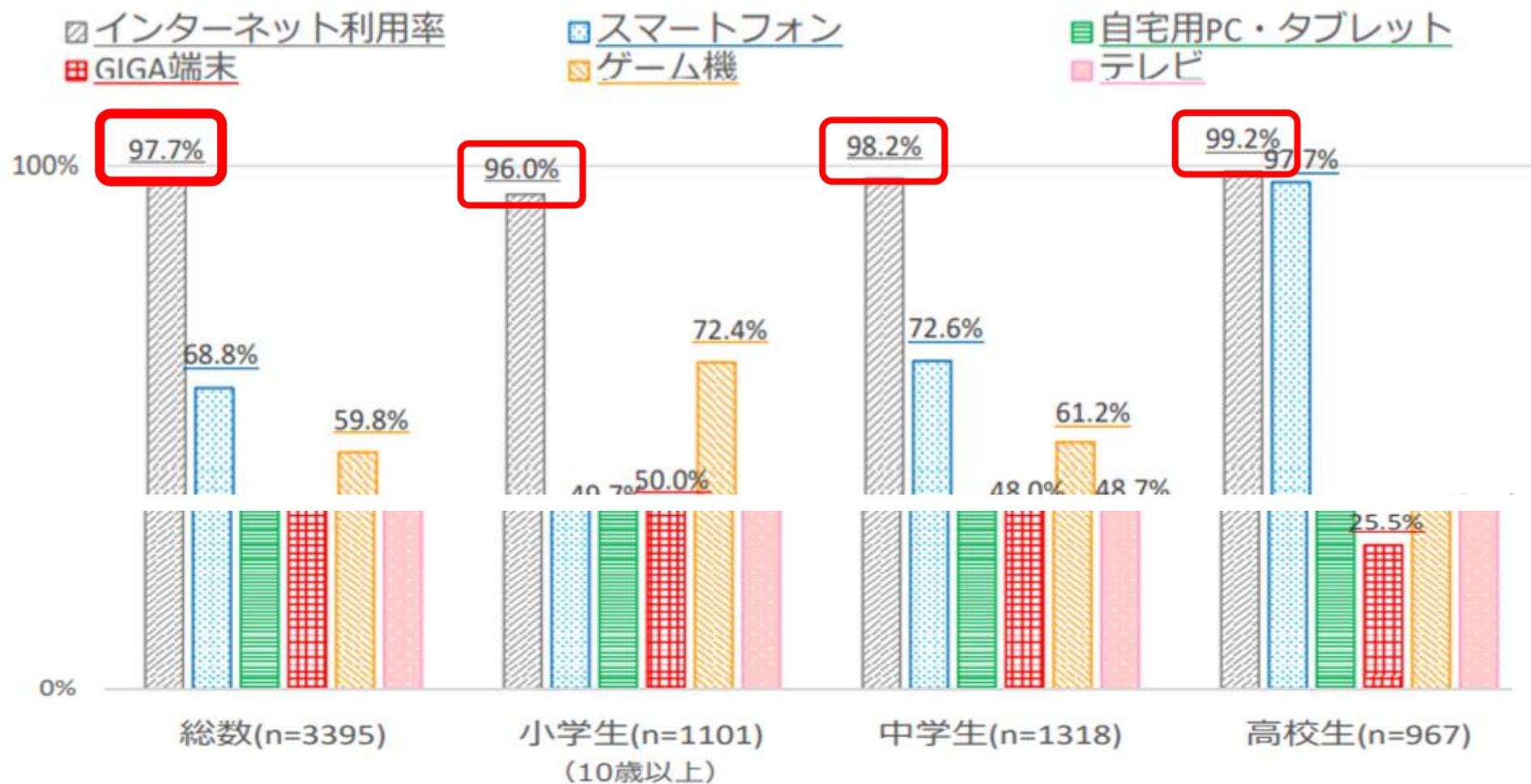
**自分の経験を
子どもたちに伝える**



小・中・高校生のインターネット利用率



インターネット利用率（機器・学校種別）



インターネットの利用時間



全体の平均
利用時間→

令和3年度		
平均 利用 時間	3時間 以上の 割合	5時間 以上の 割合
263.5 分	65.3 %	34.3 %
207.0 分	51.9 %	21.9 %
259.4 分	67.1 %	35.5 %
330.7 分	77.5 %	46.0 %

平均時間は
約4時間半

コミュニケーショントラブルについて



- **問題点→同調圧力が生じること**

やめてほしいこと、本音と言えないことで
被害者や加害者になってしまうのでは

- **生徒に伝えたいこと**

- 1.自分を大切にしてほしいということ
- 2.抱え込まずに、周りの人に相談してほしい

まとめ

ネットの危険から子どもたちを守るために
私たちにできること

自分の経験から得た対処方法を子どもたちに伝えること。

→子どもたちに近い立場で考えられるため、
様々な状況での対応方法を伝えられる。

→アドバイスをすることで、悩みを解決するきっかけに
繋がってほしい。

